

クラス番号	923	担当教員名	小林 培男
テーマ	地域での健康と生きがいづくりをグループで学び深める		

## ゼミナール概要

**キーワード：**健康、生きがい、スポーツ、生活習慣、地域、対象

**目的：** 1年次の総合演習で「読む」「書く」「話す」など学習の基礎知識と基礎技術を学んだと思います。この基礎学習に加えて「調べる」＝事実や実態を明らかにする、「考察する」＝論拠を見出す、「報告する」＝資料を作って発表し意見交換をする、などの少し発展させた知識と技術の獲得を目指します。

つまり、各自やグループで①問題意識を深め ②実態や事実を知り ③証拠や論拠を見つけ ④まとめ報告する 力を育むゼミナール学習を進めます。目的＝目標でもあります。

**内容：** キーワードの「健康、生きがい、スポーツ、生活習慣、地域」はこのゼミの研究分野の一つの分類です（ゼミ生の関心に基づいてさらに加わえることは可能です）。この分野の対象を「子ども、成人、中高年、高齢者、病弱者、障がい者」など各自の問題意識と希望を大切にその内容を設定してゼミを進めましょう。  
(写真)・知多市身体障害者ファミスポ大会 ・岩倉市スポフェス

**方法と計画：** 各自の関心事を大切にしながら、上記の内容で示した「分野」と「対象」で3～4名の学習グループを形成し、そのグループ学習を基礎にゼミ学習を進めます。時に中間報告会やまとめの学習報告会、さらには実践実習をゼミ全体でも進めます。



主に前期で1年次の総合演習で「読む」「書く」「話す」など学習の振り返りのため、易しい共通参考書を「読み」、簡単なA41ページ程度の報告レジュメを「作成し報告する」ことから始めます。この学習を通しながら各自の関心を深め、前期終盤のグループ作りにつなげます。

主に後期で1年次と2年次前期の成果を生かし、グループで実態調査も含めゼミの目的や内容に沿ってグループ学習とゼミ全体学習を深めます。特に2年次基礎演習のまとめとしての基礎演習学習報告会に向けて、全方位・全力投球でやり抜きましょう。

**基礎演習ゼミ生と担当教員とのバランス**が演習ゼミでは大切です。ゼミナール学習計画と実施において、①ゼミ学生の積極的・主体的な取り組みと②担当教員の指導性 のバランスがゼミナール学習が(学生から見て)満足したか・成果が上がったか、(担当教員から見て)上手くいったか・指導性は発揮できたかに左右します。互いに大人として、他を尊重しながら進めましょう。

### 担当教員からのメッセージ



大学生活の2年次は、人生でいえばまさに「青年期」のようです。学習に、交友に、サークル活動に全力で当たれる1年間です。そして2年生はまた将来について考え、思い、悩み、希望する将来に向かって近づくために計画づくりと準備を進める時期でもあります。

そのような大事な2年次の基礎演習と言うゼミナール学習がそれぞれの興味や関心、問題意識に基づいて、各自の学習のすすめを基礎としながら、ゼミクラスやグループで支え合って、助け合って、ゼミ生一人一人が輝いて満足し前進と発展することを目指しましょう。

この1年間の基礎演習ゼミでこの4年間の大学生活で各自の将来の希望に1歩2歩近づくよう期待します。